



まえ だ けい すけ  
誓いの言葉を述べる代表の前田慶介さん

**自分たちの手で  
節目のときを演出！**  
詳しくは裏面をご覧ください。

委員会審査報告 .....	2P
12月定例会の結果報告 .....	3P
議会の活動報告 .....	4P
13名の議員が町政を問う .....	5~17P
地域の将来を考える子どもたち!...	18~19P
がんばっちょる!! .....	20P

## 委員会審査報告

文教厚生常任委員会 (12月5日)

**みやこ町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の全部改正**

**問** (柿野義直)「65歳以上の人員に対する基準を定める」とあるが、みやこ町の基準・配置はどのようなになっているのか。

**答** (保険福祉課長) 65歳以上おおよそ3000人から6000人ごとに保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種の職員を最低各1名以上配置するとなっている。本町には、約7600人おり、包括支援センターでは、3職種の職員を各1名以上配置しているため、基準は満たしている。

総務産業常任委員会 (12月6日)

**刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定**

**問** (梅本智明) 刑法等一部改正の施行日から施行するということだが、施行日はいつか。

**答** (総務課長) 施行日は令和7年6月1日である。

**問** (熊谷みえ子) この改正は、それぞれの条例そのものの変更ではなく、字句の訂正のみということか。

**答** (総務課長) 個々の条例の内容を変更するものではない。刑法等の改正に伴い、「懲役及び禁錮」を「拘禁刑」に改めるもの。

予算決算常任委員会 (12月9日)

**問** (熊谷みえ子) 選挙では初めての試みである「あいのリタクシーの利用」は評判がよかったようだが、きちんと周知して利用しやすいようにしていただきたい。

**答** (総合行政委員会事務局長) 衆議院選挙では周知期間が十分でなかったところが反省点である。令和7年3月23日にある県知事選挙では、必要としているかたに利用していただけるように周知に心がけたい。

**問** (大束英壽) 平成筑豊鉄道の法定協議会は、立ち上げてから何年

くらいで方向性が見えるようになるのか。

**答** (行政経営課長) 地域交通法によると、協議が始まって3年以上を目安としている。そのため、地方自治体と鉄道事業者が合意の上、再構築の方針を決定するところまでで3年以内が目安。

**問** (大束英壽) 法定協議会の構成員は。

**答** (行政経営課長) 構成員については検討中。地域交通法に地方公共団体、関係する公共交通事業者、道路管理者、公安委員会、地域公共交通の利用者、学識経験者という定めはある。

### 令和6年度補正予算

会計	補正額
一般会計(第4号)	184,056千円
国民健康保険事業特別会計(第2号)	1,590千円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	8,276千円

### 国に提出

**学校施設及び指定避難所の空調設備整備事業の促進に関する意見書**

公立学校施設の普通教室への空調設置率は全国で99.1%となっている。一方、災害発生時において地域の避難所としての利用が計画されている全国の中学校既存体育館への空調設置状況は全国平均18.9%であり、政府目標である令和17年度までに95%という目標とは大きな隔たりがある。

国民の安全と、大規模災害時にあっても憲法に保障された健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を守る観点から、左記の措置を講じられるよう強く要望する。

### 記

1. 学校施設及び指定避難所における空調設備が進んでいない自治体に対し、国庫補助の適切な運用方法を十分に説明すること。
2. 自治体の財政力指数に関わらず現実的かつ迅速な事業遂行が可能となるよう財政援助の強化を行うこと。

3 みやこ町議会だより 第81号

令和6年第4回定例会を12月2日から12月13日までの12日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

# 令和6年第4回定例会 議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	岩村宗一郎	松本潤	柿野直子	六田一美	石松雄太	小田勝彦	飯本秀夫	中尾昌廣	大東英壽	柿野義直	原田和美	熊谷みえ子	梅本智明	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (令和6年度みやこ町一般会計補正予算(第3号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町監査委員条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町水道事業、簡易水道事業、公共下水道事業及び農業集落排水事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の全部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町一般会計補正予算(第5号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
学校施設及び指定避難所の空調設備整備事業の促進に関する意見書(案)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
ガザ地区の即時停戦のため積極的外交活動を政府に強く求める意見書(案)について		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	継続審査
パンデミック条約締結及び国際保健規則改正に関する請願書		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	継続審査

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、除は除斥。 可決された意見書は関係機関に郵送しました。

# 議会の活動を報告します!

## 文教厚生常任委員会視察

- 日時** 11月7日(木) 14時30分～
- 場所** 鳥取県琴浦町
- 参加者** 柿野 義直 柿野 直子 原田 和美  
大束 英壽 中尾 昌廣 石松 雄太  
松本 潤
- 内容** 子育て支援策について

琴浦町は、みやこ町と規模がよく似ている町である。全国への発信がすばらしく、その効果で人口が増えつつある。町民サービスが手厚く、我々が訪れた時の町職員の対応がとてもあたたかであった。町長の人柄も影響してあると感じる研修であった。イメージとして「惑星コトウラ」と称し、まちの中で全ての生活が解決される町を琴浦町は目指している。

「小さいくせに、全部ある」の、キャッチフレーズで町民を巻き込みながら、「輝くひと」たちが、育ち、集い、根付く町、安心安全な暮らしを守る持続可能なまちづくりを推進している。



研修を快く受け入れてくださった琴浦町様ありがとうございました!

## 福岡県町村議会広報研修会

- 日程** 11月25日(月) 13時～
- 場所** 博多サンヒルズホテル(福岡市博多区)
- 参加者** 熊谷 みえ子 石松 雄太 柿野 義直  
六田 一美 松本 潤
- 内容**

### 伝わる議会広報の企画と編集

(一社)自治体広報公聴研究所 代表理事 金井茂樹氏

広報公聴の目的、議会報の企画・編集、戦略的広報についての講義

### 研修を終えて

今回の研修を通じて、議会報の制作において「住民に寄り添う広報」を目指す必要性を改めて感じました。

この研修で得た知識を活かし、住民と議会をつなぐ「伝わる議会報」を目指していきたいと思います。



◀ 広報研修会の様子

## 総務産業常任委員会視察

- 日時** 12月13日(金) 14時15分～
- 場所** 北九州空港～JR朽網駅(北九州市)
- 参加者** 熊谷 みえ子 岩村宗一郎 梅本 智明  
飯本 秀夫 小田 勝彦 六田 一美  
田中 勝馬



自動運転バス実証実験試乗 ▶

「自動運転バスの実証実験」に試乗。

北九州空港から朽網駅までの約10.5kmを、30分間ですが一般試乗しました。昨年度に引き続き、路線バスの自動運転の実証実験であり、自動運転レベル2とのことです。

西鉄バスの熟練運転手さんの目配りなど危険の先読みを人工知能に学ばせ、危険情報感知システムを構築記憶させていき、安全性を高めていくものです。

運転席に座っていますが、緊急時にブレーキを踏むのみで手はハンドルから離しています。

相当量の情報の蓄積と経験値を記憶させ、安全性を確保するシステムづくりにこれからの実証実験に期待をし、実用化が待たれます。





いいもと ひでお  
**飯本 秀夫 議員**



動画はこちら

**問** 脱炭素化を進めるため、次世代型自動車の導入は考えているのか

**答** 運用状況などを考慮しながら検討したい

**問** 災害時には機動力があり電源となるEV車の公用車導入および町民への購入補助は考えているか。

**町長** EV車は1台所有しており、需要動向や町の財政等を鑑みて、導入および補助を検討する。



EV車の公用車

**防災について**

**問** 森林火災を未然に防ぐために森林環境譲与税を利用し、倒木等の処理作業ならびに管理面や木材の搬出などに欠かせない一定幅の間伐をおこなう防火帯設置はできないか。

**産業振興課長** 森林整備計画を策定するとともに、

結果により、保安森林あるいは商業森林の仕分けを行い、作業道としても有意義な防火帯の設置を考えていく。

**問** 放置空き家が火災や事件あるいは野生動物の棲み処となっているが、対策は。

**住民課長** 段階的にいろいろな注意喚起をしている。

**問** 水害は同一場所が発生し、その地域住民が不便や復旧の負担金支出を被っているのを、根本的な改善を。

**都市整備課長** 水利関係者との協議の中で善処する。

**問** 張施策の最終年度となるが、実施状況ならびに周知は。

**町長** 雑草および連作障害による収穫量低下を抑制する観点から、1カ月以上の水張実施を推奨しており、現地の確認を随時している。

**問** 近年の天候に合わせた農作物の作型、品種、栽培基準等の見直しが必要ではないか。

**町長** 専門家に意見を仰ぎつつ進めていく。

**問** 農作物の産地化を図り、農業後継者の育成に努めるべきではないか。

**産業振興課長** 生産団体等の活動の応援および育成に努める。

**問** 持続的な農業を営むには、堆肥作りは欠かせない。様々な方法で堆肥作

りに取り組んでいるが、今後は。  
**産業振興課長** 現在、刈り草、学校給食の残渣を基にした堆肥化に取り組んでいる。今年度以降は、鶏ふんの堆肥化についても実証実験を考えていきたい。

**問** 育苗施設の用地確保を求める。

**町長** 課題は認識しており、今後とも関係機関と協議を進めていく。

**問** 近年、害獣被害が著しいが、電柵設置の事業予算の増額ならびに設置基準の見直しは。

**産業振興課長** 集落営農組織内での電柵使用は、設置場所あるいは規模の特定はせずに対象とする方向で進めるよう協議している。

**農業について**

**問** 令和8年度は水田水

うめもと ともあき  
梅本 智明 議員



動画はこちら

**問** 勝山地区小学校の統合  
スケジュールは

**答** 5、6年後をめどに小中一貫校の  
設置を計画したい

**問** 5、6年後をめどに設置を計画ということだが、設置という事で理解して良いか。

**町長** 設置したい、建てたいということ。

**問** 現在中学校は町内に5つ、将来の出生数等考えると統合の検討も必要、また行橋市を含めた公営中学校の検討、その辺の考えは。

**町長** 検討時間の制約もあるが、選択肢をテーブルに載せ、絞っていききたい。

**まちづくりについて**

**問** リーディングアキシヨンの詳細については。

**町長** 先導的な取組みとして、各地区で居場所づくりをテーマにした地域の特色を生かした事業を行っている。

**問** 町民に対して5月に基本計画報告会を開催しているが、今後の計画を考えているか。

**町長公室長** 3月にシンポジウムを考えている。

**問** グランドデザインの基本構想は議会の議決は必要ないか。

**町長公室長** 総合計画基本構想は議決をいただいております、この基本構想に沿ったもので、議決の必要はないと考えている。

**問** 政策調整監の採用はどうなったか。

**町長** 地方創生人材支援制度を活用し、9月に申込みを行い、町が求める人材の推薦を待っている。今後、面談・協議を行い、令和7年4月の着任に向け進めていく。

**鳥獣被害防止対策について**

**問** 被害の現状と対策については。

**町長** 被害額は近年500万円程度で推移、特にイノシシによる水稲や野菜の被害が多い。被害防止対策は、電気柵等の設置への助成やワイヤーメッシュ等の資材提供を行っている。

**問** ワイヤーメッシュには裏表がある。電気柵も碍子<sup>がいし</sup>が外側、間隔もある。設置の簡単な資料を作成し、申請時に渡せないか。

**産業振興課長** ワイヤーメッシュや電気柵の設置方法の案内文を作成し、設置農家に周知したい。

**国道201号4車線化について**

**問** 工事開始に伴い、新町交差点付近の更なる渋滞が予想されるが、渋滞解消対策は。

**町長** 工事主体である国土交通省北九州国道事務所に朝・夕の混雑時の工事用車両等の通行回避等、渋滞対策及び安全対策を強く要望する。



ワイヤーメッシュ



まつもと じゅん  
**松本 潤 議員**



動画はこちら

**問** 再生可能エネルギーのメガソーラーの禁止条例ができないか

**答** 現在の条例がメガソーラーの進出の抑止力になっている

**問** 太陽光パネルをこれから

今後実施していく。  
みやこ町地球温暖化対策実施計画を策定したので、

**町長** 2050年までに

ゼロカーボンを達成するため、みやこ町が積極的に取り組んでいく意思表示となっており、令和5年度に

資源エネルギー庁でも2040年以降に大量に太陽光パネルの廃棄が行われる廃棄問題を想定しており、対策を検討している。みやこ町でも適正に処分するよう周知に努める。

**町長** 資源エネルギー庁

これから先、既存のパネルの破棄問題が出てくるが、町としての対策は。

**町長** 現在は、地元住民からの「水質と水位の変

備の水質検査は。

**問** 既存のメガソーラー設

備の消火設備を設置するこ

とは現在予定してない。  
**町長** 町が独自に消火器にも有効とされている消火器を開発している、京築広域圏消防本部と連携し、購入・配置はできないか。

再生可能エネルギーが増えるにつれ再生可能エネルギー発電促進賦課金も上昇し、結果として電気料金の値上がりにつながっていると考える。

**町長** 再生可能エネ

らも受け入れれば、その分再エネ賦課金として住民の電気代は高くなる、町長の考えは。

**問** みやこ町の農・林業も

人口減少とともにになり手

を学び、興味や愛着を感じてもらえるように学校の協力を得ながら連携を深めていく。

**町長** 学生の間には町の事を学ぶ、小さいときからの愛国心の教育が、少しでも若者の定住になるのでは。

**問** 我が町に設置しているパネルの不適切工事が数多くあるが、現状把握しているのか。

**町長** 周辺の住民から苦

情があったものは把握している。  
化がなかったための調査中止の提案」を受け、実施していない。

▶ グラップルローダーの林業作業の様子



**町長** 農業については専門家の意見も頂きながら施策の検討を行う。林業も利用目的別のゾーンニングを行い、活発な林業活動につなげていく。

不足が課題である。これからの方向性は。

かきの なおこ  
柿野 直子 議員



動画はこちら

### 問 家にいながら楽しく買い物を

### 答 みやこ町の実情に合った支援を検討

**問** 高齢者や交通不便者などの生活用品・食料品を含め、宅配業者、グリーンコープなどに家にいながら楽しく買い物ができる、注文から配達および高齢者の見守りを兼ねた事業委託を構築できないか。

**町長** 社会福祉協議会や民間事業者に委託している配食サービスでは、利用者の安否確認も併せておこなっている。今後も日常生活用品や食料品を自宅まで届け、安否確認も併せてできるサービスなど、買い物弱者支援に積極的に取り組んでいる事例を参考に、みやこ町の実情に合った支援を検討したいと考えている。

**不登校児童・生徒の対応について**

**問** 文部科学省は、令和5年度の児童・生徒の問題行動・不登校などの調査結果を公表した。みやこ町の小中学校の不登校児童・生徒数を伺う。

**学校教育課長** 令和4年度は53名、令和5年度は55名、令和6年度10月時点で47名。

**問** 調査結果では、95%が学校内外の機関や担任等から相談・指導を受けているとされているが、その機関とはどのような機関なのか。

**学校教育課長** スクールソーシャルワーカーおよびスクールカウンセラーだと考えている。

**問** 文部科学省の具体策として重要視しているス

**クールソーシャルワーカーの人員数を伺う。**

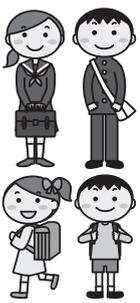
**学校教育課長** 1名でみやこ町全体を対応している。基本的に週1日きている。それとは別に福岡県の事業により勝山中学校区に限り、令和5年度、6年度は配置している。今の数で足りているかどうか再度検討して今後のことを考える。

「スクールソーシャルワーカーとは」

社会福祉士および精神保健福祉士等の福祉の専門家のこと。福祉機関と協力して児童・生徒を支援している。(福岡県不登校児童生徒支援リーフレットより)



リーフレット  
二次元コード



**法人税の減免制度について**

**問** 特定非営利活動法人いわゆるNPO法人関係者から法人税の減免はできないかとの意見があったが、減免についてどう考えているのか。

**町長** 本町の税条例には、町民税の減免に関する規定がある。また、減免取扱要綱も制定しており、非営利型法人には既に必要な措置を講じている。

**問** NPO法人に類する一般社団法人等に税法上、優遇措置ができないなら、事業応援金の支給など支援策は検討できないか。

**町長** 経営的な観点を持ちながら、どうすれば持続可能な活動ができるか等サポート体制を作りたいと思っている。



はらだ かずみ  
**原田 和美** 議員



動画はこちら

**問** 報道機関にでた給付金について、各議員に説明が無かったが

**答** ご指摘のとおり反省し気を付ける

**問** 10月22日報道の給付金の誤処理について説明がなかったが、誰が責任を取るのか伺う。

**町長** 事務処理の誤りがあつた場合の慣例に従い、議長他各委員長に報告後、記者発表、ホームページで公表を行った。しかし、住民に与える影響等を鑑みて、慣例によるのではなく、議員皆様に報告すべきであつたと反省している。

**問** 報道事項に関して特定の議員のみ報告して、残り9名に報告しないのか。

**副町長** 改めて深く反省し、お詫びする。

**問** こういふ問題は、議員全員と行政が一致団結して取り組まないといけないことと思うので、発生後すぐに全員協議会を開くべきだったのでは。

**副町長** 町民皆様にも、信頼を損なうことになるので、今後は皆様に事情の説明をすることを徹底していく。

**騒音対策補助金の使途について**

**問** 騒音被害の大きい10地区から工事負担金を取るのはなぜか。

**町長** 騒音被害のある地域についても、応益応能の原則に基づき受益者負担を求めている。

**問** 補助金は騒音被害のある10地区に対して主に使うべき。10地区の工事は優先的に負担金を取らずに実施できないか。

**町長** 未来座談会の中でも苦労されている話を聞いている。難しい問題ではあるが、何かできないか検討

している。

**問** 町内で一番迷惑している地区に対しての補助金であるのに、負担金を取るのはおかしい。道路整備事業には、負担金を取っていないのこ。

**町長** いろいろ要望を聞いているので、なるべく地元負担がないようにということ考えていく。

**【10地区とは】**  
皆見、下原、綾野、吉岡、上原、光富、台ヶ下、徳永、布引、上坂

**議員報酬の見直しについて**

**問** 町3役に関し見直しを行っているので、見直しはどうか。

**町長** 特別職報酬等審議会条例に基づき開催された平成21年の報酬審議会

の結果、町三役並びに議長及び副議長2%減額のみを実施し、今日に至っている。

**問** 合併前の48名から14名に議員削減を実施したのだから見直しはどうか。

**総務課長** 令和4年に開催された審議会では、新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済状況等から町民の理解が得られないという理由で「据え置き」と答申いただいている。令和6年現在、社会経済状況等が正常化に向かっていることから審議会を開催し、審議中である。なお、審議内容については、現在審議中のため明確な答弁は控える。

いしまつ ゆうた  
石松 雄太 議員



動画はこちら

**問** 消防団に初期消火に有効であるジェットシューターの支給ができないか

**答** 林地がある部については、今後配置をするか部と協議をしていく

**問** 消防団の強化に関する取組みは、どのように実施していくのか。

**総務課長** ソフト面については林野火災を想定した訓練等、ハード面においては装備品の強化、全体としては、消防団の在り方について消防団と協議をし、強化に努めていく。



ジェットシューター

**町のPR**

**問** 国府の郷や犀川駅で実験的に観光案内所を設置すると言っていたが、実証実験は行われたのか。

**副町長** 実証実験はまだ実施していない。

**問** 町内飲食店をPRするためにもグルメガイドブックを作成しているが、外国語表記にも対応しているのか。

**産業振興課長** 外国語表記の計画はしていない。インバウンド客へは、アプリ等で日本語翻訳できる機能の紹介等ができないか議論している。

**文化交流センター**

**問** 文化交流センター完成後は、どのような役割を果たす事が期待されているのか。

**生涯学習課長** 現在のところは公民館の代替施設。今後は関係部署、近隣住民の意見を聞き、利用計画を作成する。

**問** 工事の進捗状況と今後のスケジュールは。

**生涯学習課長** 現在、建物の建築工事を行っている。令和7年度に完成予定。現在、使用している豊津公民館は令和7年度に解体設計を行う。

**問** バス停の設置は考えていないのか。

**生涯学習課長** 外構の設計が完全に終わっていないので、こういったものを含めて利便性向上に努めていく。

**問** 地元の木材を使用し家具等設置できないか。

**生涯学習課長** 森林が非常に多く、林業が盛んな町なので設置の方向で検討している。

**障がい者福祉**

**問** ふくしまつりに就労ブースの設置を。

**保険福祉課長** ふくしまつりの目的に沿ったものと認識しているので実行委員会において検討する。

**子育て**

**問** 子育て短期支援事業として、ショートステイ、トワイライトステイを取り入れるべきではないか。

**子育て・健康支援課長** こども計画を策定する中で、議論等も行っている。令和7年度に向けて対応できないか検討中である。

**問** 5歳児検診の内容や流れはどのようになっているのか。

**子育て・健康支援課長** 現在みやこ町では実施に至っていないところである。今後は実施していかないとはいえないと考えている。



かきの よしなお  
**柿野 義直 議員**



動画はこちら

**問** 身寄りのない高齢者の実態はつか  
んでいるか

**答** 数はつかんでいないが、訪問する  
中で適切な支援につなげている

**問** 高齢者の生活の実態は  
つかんでいるか。

**町長** 高齢者支援係や包  
括支援センターで実態の  
把握に努めている。すべて  
の高齢者に対し、3年に  
1度の調査を実施してい  
る。

**問** 年金が少なく、生活  
できないと心配される。  
対応は。

**保険福祉課長** 相談があ  
った場合は、生活全般の  
聞き取りを行ったうえで生  
活保護等につなげている。

**小中学生の不登校問題  
について**

**問** 不登校生徒の数は。

**学校教育課長** 令和4年  
度は53名（小学生18名、  
中学生35名）、令和5年  
度は55名（小学生23名、  
中学生32名）、令和6年  
度は10月までで47名（小

学生12名、中学生35名）。  
**問** 年間30日以上のお休み  
があると不登校となる。

そこまでに至らない児童  
数は把握しているか。  
**学校教育課長** 令和6年  
度10月までは小中学生合  
計で56名。

**問** みやこ町の不登校児  
童数は全国的にみても高  
いが、原因は何か。

**学校教育課長** 児童10  
00人あたりで見ると、  
小中学生あわせて全国平  
均は37.2人、福岡県は  
43.9人、みやこ町は48.8  
人となっている。高い理由

はまだ調べ切れていない。  
**問** 不登校の理由はどんな  
ことか。

**学校教育課長** 令和4年  
度からの不登校数155  
件のうち、1番は無気力・  
不安が58件37.4%弱。次

に生活リズムの乱れ・遊  
びが22.6%、該当なし。  
理由がはっきりないが16  
1%となっている。子ども  
の貧困やいじめを理由と  
するものはなかった。

**まちづくりには情報発  
信が大切だ**

**問** 子育て支援で全国的  
にも高い評価を受けてい  
る鳥取県琴浦町に視察に  
行った。給食費無償化な  
ど個々の対策はみやこ町  
のほうで優れている。た  
だ、多くのボランティア  
の方々やまちづくりに関  
わり情報発信をしていた。  
町長が言っているネット  
ワークとはどんなことを  
指すのか。

**町長** スマホの中で行政  
サービス、民間サービスが  
完結できるようにすること  
である。

**問** そういう機器の講習会  
はあるのか。

**行政経営課長** 町民向け  
のスマホ講座がある。これ  
まで9回、30数名の参加  
者があった。

**問** すどりの里にある「み  
やこ観光まちづくり協会」  
（民間）が目立たない。場  
所の移動は考えないのか。

**町長** 観光まちづくり振  
興協議会の答申を基に検  
討していく。



すどりの里横のみやこ観光まちづくり協会

ろくた かずみ  
**六田 一美 議員**



動画はこちら

**問** 未婚の男女に出逢いの場を

**答** プライオリティや費用対効果を考えた検討が必要

**問** 町内には婚活イベントへの参加を希望している人がたくさんいる。特に親御さんからの要望が強くある。町独自で公民館などに未婚の男女に集まっていたら、何かのイベントをしてはどうか。

**行政経営課長**

町独自で

10年間で20回開催し、成婚率は2%であった。一定の効果をみて、令和4年3月31日で婚活事業を終了している。今のところすぐに取り組むという予定はない。

**問** 何も難しいことをしたり、お金をかけたりする

のではなく、スポーツやゲーム、フォークダンスをしたり、町のバスを利用してバスハイク等をしてはどうか。出逢いの場を作ることが大事だと思

うので、こういうことに取り組んでもらいたい。

**行政経営課長**

お金をか

けず身近なやり方で出逢いの場を作ることが重要という趣旨はよくわかる。

しかし、今のところニーズや所管が持つ様々な事業との調整、プライオリティ（物事の優先度）、費用対効果ということを考えると、もう少し検討が必要である。

**道路の立木について**

**問** 町のいたるところで道

路に立木が覆いかぶさっている。特に、町道の上坂国作線の農協横の道路は、近隣企業からコンテナ車が5台、大型トラックが15台、通勤のために約200台の車両が1日に通っている。また、そ

他の企業の車両も頻繁に通る。さらにそこがカーブになっており、大型トラックが通るときは中央線に寄るため非常に危険である。事故が起きてからでは遅いので、早急に対応を打ってほしい。

**都市整備課長**

立木につ

いては所有権があるため、所有権者に切ってもらうのが原則である。しかし、どうしても切れないときは、所有権者と話して対処を検討したい。



立木が覆いかぶさっている道路

おだ かつひこ  
**小田 勝彦** 議員



動画はこちら

**問** 勝山地区の学校再編については

**答** 小中一貫校を基本に新たな学校の設置を計画したい

**問** ハード面においては。  
**町長** 3小学校の校舎も建設から50年前後経過しており、ハード面においても困難を抱えている。

**問** グランドデザイン実施計画が示されたが、勝山地区の諫山・久保・黒田の3小学校の現状は。  
**町長** 児童数は279名。  
**問** 学級数は。  
**町長** 複式学級、特別支援学級を含めて21クラス。

**問** 通常学級については。  
**町長** すべて単学級でいずれの学年もクラス替えがでない状況。  
**問** 勝山地区の児童数減少については。  
**町長** 10年ごとに40〜60名ずつ減少することが推測され、学級編成上の課題が年々増すことが予想される。

**問** 勝山地区の学校再編は。  
**町長** 来年度策定する学校再編の基本構想の中で慎重に検討し、方向性を示したい。早ければ5、6年後を目的に、勝山地区は小中一貫校の設置で計画を考えている。

**問** 中学校の統合について。  
**町長** 【二校に統合の場合】生徒によっては相当な遠距離通学が避けられなくなり、関連して部活動の実施が困難となる可能性がある。

【統合しなかった場合】生徒数減少に伴う学級編成上の問題や教員定数の削減の問題など検討すべき点が多くある。

**問** 伊良原ダム周辺環境美化について。  
**町長** 伊良原ダム、森林公園、立木枯れが多く景観を損ねているが、対策は。

**問** 伊良原グラウンドゴルフ練習場の増設を望む声については。  
**町長** 伊良原グラウンドゴルフ練習場の増設を望む声については。

**問** 学校教育課長 天然芝のグラウンド面の管理方法や改良等利用しやすい状態を検討したい。

**問** 学校教育課長 町は面積も広く、移動手段を持たない方の施設利用についても配慮し、調整に努めたい。



グラウンドゴルフの様子

**問** グラウンドゴルフ、ゲートボール競技場まで遠く練習する場所も奪われ、地域仲間とのコミュニケーションについて。  
**町長** 森林公園は平成30年に増設し、約7年が経過している。立ち木が多く下草刈りの作業と併せて不要木の搬出、間伐等を検討し、景観整備を進める。

**問** 伊良原グラウンドゴルフ練習場の増設を望む声については。  
**町長** 伊良原グラウンドゴルフ練習場の増設を望む声については。

**問** 学校教育課長 天然芝のグラウンド面の管理方法や改良等利用しやすい状態を検討したい。

**問** 学校教育課長 町は面積も広く、移動手段を持たない方の施設利用についても配慮し、調整に努めたい。



動画はこちら

**問** 誰もが住みなれた町で暮らせるよう  
に対策を

**答** 効果的な方法を検討していく

**問** 高齢者のごみ出し支

援などで、介護保険の対  
象にならない人などの、  
安否確認・声かけの制度  
化を求める。

**町長** 策定中の一般廃棄

物処理基本計画の重要な  
観点である。

ごみ出しの補助や個別  
回収等の対策が考えられ、  
対象者宅への訪問が原則  
で、訪問時に声がけし、  
安否確認を行うことは可  
能。効率的かつ効果的な  
方法を検討していく。

**住民課長** ごみ出し困難

者の把握について、関係課  
と連絡を図り、情報を精  
査したい。



**公共交通対策を**

**問** バス路線の豊津勝山  
線の新設検討はできない  
か。

**町長** バス路線について

は、必要に応じて関係市  
町と情報共有の会議を  
行っている。地域の交通事  
業者が運営する行橋駅付  
近と接続しているバス路線  
11路線が、利用者の減少  
や運転手の高齢化などに  
より、幾つかの路線は運  
営が厳しい状況にある。

**タクシー券の補助を**

**問** 予算が残る事態になっ

ている。タクシー券の補助  
は、自宅に籠らない、地域  
につながっていく、重要な  
役割がある。対象者を拡  
大し、安心して過ごせる  
まちづくりの一端となる計  
画を求める。

**行政経営課長**

福祉タク  
シー利用券は、在宅の重  
度心身障がい者及び虚弱  
高齢者等に、日常生活の  
利便と社会活動の範囲の  
拡大を図り、福祉の向上  
を目的に交付。利用券は  
1枚300円を年96枚、  
人工透析患者には、年  
240枚を助成。

**保険福祉課長**

人口減少  
や高齢化など社会情勢の  
変化により、一福祉の事  
業から公共交通としての  
色合いも濃くなってきてお  
り、見直しを検討する時  
期に来ている。本町の地  
域特性を踏まえ、条件緩  
和を含めた適切な制度設  
計を行い、日常生活や社  
会活動の利便性の向上を  
図ることができるものと考え  
える。

**平和行政**

**問** 築城基地の滑走路の  
延長事業が始まる。

米軍の輸送機が常時  
使用できるようにコンク  
リートの厚み、耐久性など  
考慮した工事を行う。地  
域住民に与える影響につ  
いて問う。土砂の搬入状  
況及び今後に必要な対策  
など、考えているか。

**町長**

工事概要は、滑走  
路の延長及びそれに伴う  
過走帯の移設、着陸帯及  
び誘導路の延長、カメラ  
標的の移設及び海上への  
進入灯の設置である。  
地域に与える影響に対  
しては、できるだけ生活  
道路を通らないなど、住  
民に負担をかけないこと  
や、大気質、騒音、振動  
などへの配慮をお願いして  
いる。

おおつか ひでとし  
**大束 英壽** 議員



動画はこちら

**問** 教育長不在、任命の時期は

**答** 後任人事は3月定例会で提案をしたい

教育行政について

**問** 6月議会に教育長の提案がされたが、議員全員不同意となり否決された。その後、半年が経過をしたが、いまだに教育長が不在である。

教育行政、学校現場において、教育長不在による支障はないのか。

また、今後教育長任命についてはどの時期に提案をされるか伺う。

**町長** 教育長不在となつてから間もなく6ヶ月になる。この間、教育長職務代理者を中心に教育委員の方々、学校教育課長及び生涯学習課職員並びに関係者の皆様に御協力を

いただきながら、教育行政に支障を来すことがないように努めてきた。教育長が長期不在である事

機構改革について

は学校関係者、教育委員会事務局、そして住民の皆様にとって望ましいことではないことは明らかであり、後任人事については、3月定例会で提案したい。

機構改革について

**問** 年度当初に政策調整監の職を設置する条例が可決をされた。しかし、9ヶ月を経過した今、いまだに政策調整監の職が決まっていない。町長自身、今後どのような人選をし、いつの時期に政策調整監を任命するのか伺う。

**町長** 政策調整監については、内閣府が地方創生に取り組む地方公共団体を人材面から支援する地方創生人材支援制度を活用して進めている。

は学校関係者、教育委員会事務局、そして住民の皆様にとって望ましいことではないことは明らかであり、後任人事については、3月定例会で提案したい。

環境対策について

今後派遣元との協議、派遣候補者とも面談・協議を行い、任用者を決定し、令和7年4月の着任に向け必要な手続を進めていきたい。

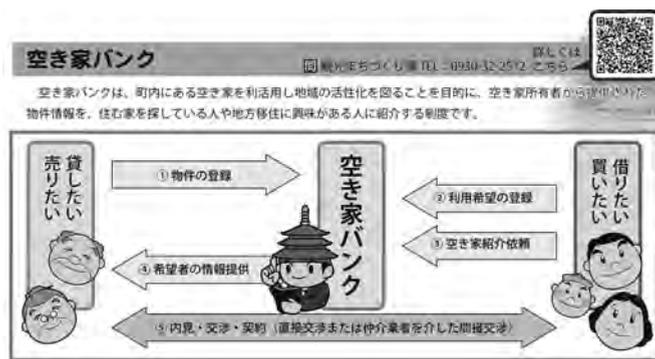
環境対策について

**問** みやこ町には老朽化した空き家、放置された空き地が多く点在しており、崩壊寸前の家屋や野放しになった空き地等に、多くの苦情が寄せられている。担当課の対応、対処はどのようにしているか。また、罰則規定を盛り込んだ条例改正が必要とあなたが町長の考えを伺う。

**町長** 「みやこ町空き家及び空き地等の適正管理に関する条例」に基づき、空き家の所有者等を調査し、助言、指導及び勧

今後派遣元との協議、派遣候補者とも面談・協議を行い、任用者を決定し、令和7年4月の着任に向け必要な手続を進めていきたい。

告の文書を送る。今後は、「空家等対策の推進に関する特別措置法」と条例を比較しながら検討する。



「住めばみやこ」パンフレット

なかお まさひろ  
**中尾 昌廣 議員**



動画はこちら

**問** 高齢者の足の確保として自動運転導入の考えは

**答** 調査・研究していく

**問** 高齢化が益々進んでおり、高齢者の孤立化、格差拡大、生活環境の不便さ、安心安全の確保、加えて認知症の増加等、このことを踏まえた対策をしっかりと推し進めていただきたい。現在、自動運転移動サービス事業が注目されている。政府は、2025年度50ヶ所、2027年度100ヶ所以上で実装するという目標を掲げている。みやこ町と変わらない1万8千人の福井県永平寺町がレベル4で実装している。非常に使い勝手が良いと好評である。高齢者の足の確保としてぜひ導入を考えた方がいいと思うがどう。

**町長** 各地の実証実験や運行事例等参考にして今後も引き続き調査研究していく。

**伊良原ダム周辺に水陸スポーツパークを**

**問** 政府が再び地方創生を掲げていることからダム湖を活用したサーフボード、カヤック、カヌー等若者が集う場所に、また遊休地にスケボーやラジコン、ドローン等近くにグランドゴルフがあることから老若男女を問わず水陸合わせたスポーツパークを地域活性と観光の目玉としてお願いをしたい。

**町長** ダム周辺施設等観光資源として県内外にアピールするとともに地域住民の生活環境や自然環境を損なうことのないよう取り組みを進めることが必要。今後、ダム湖の活用や周辺遊休地の有効活用、施設の運用に関し検討する。

**みやこ町文化遺産等に掲示板を**

**問** みやこ町は国府を始め古代山城や多くの山城に囲まれた珍しい町と言われている。重要文化財には掲示板が設置されているが、自分の裏山やいつも目にする山が歴史のある山城であることを地域の人や子ども達に紹介することで我が町を誇りに思う心が生まれて来ると思う。このことを次世代に継承するために町を囲う山城に掲示板をお願いする。

**学校教育課長** 歴史文化の豊かなみやこ町において、この文化遺産を活用するため、案内板設置についてもニーズにあった取り組みを検討したい。

**集落支援員について**

**問** 高齢者にとって重要な

**役割である。成果は。**

**町長** 熱心に活動し地域を回っている。広報11月号で活動内容を知らせる内容の記事を掲載したところ。

**集落支援員を紹介**

みやこ町では、地域の現状を把握し課題の解決につなげるため、人口減少が進む地域などに集落支援員を配置しています。現在2人の支援員が、それぞれの活動地域で、区長や民生委員と連携しながら日々活動しています。  
〔活動内容の例〕  
・高齢者の見守り訪問  
・生活の困りごと支援  
・買い物支援、各種手続きの案内  
・大南などの歴史的遊園地での巡回支援  
・地域を巡回し実情があれば区長に報告 など

集落支援員プロフィール

	加藤 伸三 ■担当地区 榑山・勢加・津東 ■勤務場所 行政課総務（制作）
	加藤 伸三 ■担当地区 伊良原・勢加・津東 ■勤務場所 伊良原コミュニティセンター



みやこっちゃんR6.11月号P.22(集落支援員の紹介)

**地域おこし協力隊について**

**問** 協力隊活動のお知らせを。

**町長** 広報やホームページで4年間を振り返った記事等を掲載したい。



いわむら そういちろう  
**岩村 宗一郎 議員**



動画はこちら

**問** 獣害対策として個体数を撃滅していくための施策は

**答** 防除・駆除の施策は進めており、新たな施策については情報収集に努める

**住民課長** 福岡県アライグマ防除実施計画は、福岡県環境部自然環境課が令和6年3月に作成。令和3年度の県の調査の結果、みやこ町のアライグマの捕獲頭数は1平方kmあ

**問** 県のアライグマ防除実施計画の中で近隣市町村は、重要対策地域に指定されているが、みやこ町は指定されていない。なぜか。

**産業振興課長** 近隣町村が集まり、この地域の駆除対策についての議論は現在していない。どうしたら駆除に有効かという情報交換は専門部会があり、その場で情報共有する。

**問** ハンターは減り、頭数は増えている。国、県、近隣市町村は数を減らす為の協議は行っているか。



アライグマ

たりの捕獲密度が0.2頭未満の市町村となっており、重要対策地域の次の計画対策地域となっている。しかし、令和5年度みやこ町の捕獲頭数は81頭で1平方kmあたりの捕獲密度が0.5頭となるため、重要対策地域と同様な徹底捕獲や捕獲体制の整備が必要である。

**問** 北九州空港の延伸・国道201号バイパスに伴う土地利用の今後の見通しについて

**町長** 現在、都市計画の見直しにおいて、都市計画区域と土地利用の見直しの協議を行っている。都市計画の見直しは、勝山、犀川地域の準都市計画区域を都市計画区域に編入し、町内と京築都市計画区域と一体的な土地利用の整備、開発、保全を図ることを目的としている。

**問** 北九州空港の延伸、国道201号のバイパスに伴い、当町の立地は物流の要衝としての成長を見据えて土地利用を考へなくてはならない。土地利用に関して町の考えを伺う。

**答** 北九州空港の延伸、国道201号のバイパスに伴い、当町の立地は物流の要衝としての成長を見据えて土地利用を考へなくてはならない。土地利用に関して町の考えを伺う。



資源ごみステーションも検討中である。来年度から、一般向けの資源ごみステーションを試験的に開設出来ないか検討している。

**町長** 策定中の一般廃棄物処理基本計画の中で、資源ごみステーションの設置は検討できないか。

**問** 「ゴミの収集について」ビン・カン・ペットボトルについて、若者から「区の処分では追いつかない」、「地域の目を気にせねばならず出しづらい」との声がある。リサイクルステーションの設置は検討できないか。

# 考える子どもたち!



久保小学校6年生

## 諫山小学校・久保小学校・ 伊良原小学校の児童が 議会を傍聴

12月4日から13日までの会期で開催された12月定例会に久保小学校(8人)、伊良原小学校(3人)の6年生と諫山小学校(4人)の5・6年生の子どもたちが傍聴に来ました。子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。感想文を頂きましたので、少しですが、ご紹介いたします。

★ 議員さんたちが一生けん命に町のことをよりよくしようとして話し合っていたので選挙に行けるようになったら1票を入れに行きたいです。

★ 議員さんが町民の代表として出て、町民が安全・安心にらせるように意見や思いを言っているのがすごかったです。

子どもたちのこと思いながら意見を言っているところが「かっこいいな。」と思いました。

★ 議会傍聴に行って感じたことが2つあります。1つ目は、「空気感のちがいがいい」です。議会を傍聴する前としている時の空気感のちがいを感じ、議員さんたちが町のために真剣に話し合いをしておどろきました。

2つ目は、「みやこ町の解決しないといけない課題の量が多い」ということです。技術が発達してきた今でも、「災害」「環境」などの問題がたくさんあることが分かりました。自分にできることを考えていきたいです。

★ 議会傍聴に行ったことで、私が知らなかったところで私たちのことについて一生けん命話し合ってくれていたことを知り、改めてふだんからささいなことにもありがたみをもって生活していきたいと思うことができました。そして、「まだまだ課題はたくさんあるんだな。」ということに気づきました。





# 地域の将来を



伊良原小学校6年生



諫山小学校5・6年生

★ 今日は聞くことができなかったけど、獣害対策などにも目をむけていると知ったので、ホームページや議会だよりなどをみてみたいと思いました。



★ みやこ町の大切なことを決めるのは、町長さんや議員さんだと知れたので、18才になったら責任を持って選挙に参加したいです。

★ 水害や農業のことなど知らない内容もたくさんあって少し難しいなと思いました。でも、EV車の話は興味がありました。

EV車がたくさん増えて環境にいいみやこ町になってほしいです。

★ 一つ一つの質問の内容をくわしく話していたおかげで内容も分かりやすく、何について質問・回答するのも分かりやすかったです。

★ みなさんの言葉がハキハキしていて、私にはできないだろうと思いました。



★ 学校にも話し合いをする日があるので、参考にして話し合いをしようと思いました。

★ 自分たちが快てきに過ごせているのは、みやこ町役場で議会を開き、生活の中にある問題を改善しているからだと思いました。

がんばっちょる!!

# 二十歳の集い 実行委員会



こちらの中高同じの仲良し4人で  
新たな取り組みを試行錯誤!



こまつよしひか 小松義隆さん  
つかもとひかる 塚本輝さん  
むらなかとらまる 村中寅良丸さん  
しらかばら はる 白木原温さん

Q 実行委員会に入ったきっかけは?

家族の勧めや友達に声をかけてもらって。

Q 実行委員会が一番大変だったことは?

記念品や景品を決めるとき、予算などの制約が多く、その範囲でみんなが喜ぶものを決めるのが大変だった。一度決めた企画をはじめから練り直したりして、11月にやっと決まった。

Q 例年と違うところは?

式典の内容も一から考え、誓いの言葉も会場に向けてするようにした。一番は、企画として記念品とは別に抽選で景品が当たるようにした。ほかにも小6・中3の担任の先生からのビデオレターの案もあったが、先生たちも多忙で実現しなかったのは残念だった。

Q 実行委員会やってみてどうだった?

大変なことも多かったけど無事に終わられてよかった。自分たちが主役のイベントに関わることができて楽しかったし、人生で一度しかない活動が出来てとてもいい経験になった。



和気あいあいとおしゃべりしながら  
楽しそうに作業中



## 編集後記

厳しい寒さが続く中、梅のつぼみがほころび始め、春の訪れを感じる季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。今年も新たな一年が始まり、地域の課題解決や、より良いまちづくりに向けて、広報委員会として皆さまに有益な情報をお届けできるよう努めてまいります。

今回の広報では、12月議会で議論された重要な議題や一般質問を詳しくお伝えしております。ぜひお手に取ってご一読いただき、地域の未来に一緒に思いを寄せていただければ幸いです。

まだまだ寒さ厳しい日々が続きますが、どうぞお体には十分ご自愛ください。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

石松 雄太

## 議会広報 特別委員会

委員長	熊谷 みえ子
副委員長	石松 雄太
委員	六野 義直
委員	柿野 美直
委員	松野 直子
委員	田中 勝馬
発行責任者	田中 勝馬

3月の議会定例会は、  
3月3日(月)開会予定です。  
議会傍聴においでください。